

エチオピアが教えてくれた、学ぶこと・生きること

実践場所	香川県	高松商業高等学校	実践者	松田依子
対 象	高校1年生(定時制)	時間数	3時間	
担当教科	国語科	実践教科	国語総合	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・エチオピアに親しみ、日本との共通点や相違点を見つける。 ・発展途上国の事例から、学ぶことや働くことの意義について考える。 ・適切な話し方・聞き方を考え、実践する態度を養う。 			
実践内容	回	プログラム		備 考
	1	<p>「話し方・聞き方はどうかな？」</p> <p>①友人同士で話をしたり、授業などで発表し合ったりするときの、話し方・聞き方について考える。</p> <p>②①の内容を実践し、ペアになって、話し役・聞き役になり体験する。</p>		
	2	<p>「エチオピアとはどんな国だろう？」</p> <p>①アフリカについて抱くイメージを発表する。</p> <p>②エチオピアに関する〇×クイズを行ない、社会、環境、文化などについてスライドや実物を見せながら知る。</p> <p>③エチオピアと日本の共通点や、初めて知って驚いたことをまとめ、話し合う。</p>		
	3	<p>「エチオピアが教えてくれた、学ぶこと・生きること」</p> <p>①「学校に行けない」ことがどのような結果を招くか、カードを使ってペアで話し合う。</p> <p>②エチオピアの実態について、職業訓練の様子や、現地での日本人の活躍する現場を知る。</p> <p>③①、②から学ぶことや働くことの意義を考え、意見を発表する。</p>		<p>・「国際理解教育実践資料集」を使用</p>
成 果	生徒たちは、初めて知るエチオピアの様子に、とても興味をもって授業に参加していた。生徒一人一人が、日本とは様々な部分で異なる国であっても、多くの共通点を見つけることができていた。			
課 題	3回目の授業の③では、「日本の私たちは恵まれている。」という結論で終わっている生徒が多く見られた。自分自身が学ぶこと・働くことに置き換えられるように、発問の工夫をしなければならない。			
備 考	・2、3回は学校図書館を使って行なった。			

[授業実践の詳細]

1 時限目 「話し方・聞き方はどうかな？」

1 子どもの活動の流れ

- ① 普段の学校生活のなかで、1対1で話し合うときや、クラス全体に向けて発表するとき、またその発表を聞くときの態度を振り返る。
- ② 2人組になって、交互に話し役と聞き役になり、相づちやうなずきのある「正しい聞き方」と、視線をそらしたり腕組みをしたりする「悪い聞き方」を1分程度体験し、感じたことを話し合う。
- ③ 指導者や発表者がクラス全体に話す場合、どのような聞き方をすればよいかを考え、実践する。その際、指導者がエチオピアに行く前に行なった準備(予防接種を受ける、パスポートの取得など)を話し、次の授業に関心をもたせるようにした。

この時限のねらい

考え方や価値観の異なる他者を受け入れるためには、話をする態度、聞く態度が重要であることを理解する。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇「正しい聞き方」で話を聞くためには、相づちやうなずき、表情を合わせる必要があると意識しながら、相手の話を真剣に聞くことができた。
- ◇「悪い聞き方」では、話をしているも不快だと感じていた。
- ◇海外旅行をしたことがない子どもがほとんどで、渡航先によっては予防接種や様々な手続きが必要であると知り、驚いた様子であった。

2 時限目 「『エチオピア』とはどんな国だろう？」

1 子どもの活動の流れ

- ① アフリカについて抱くイメージを発表する。
- ② エチオピアに関する〇×クイズを5分程度で解く。その際、そのように考えた根拠を明確にする。
- ③ 「自然・環境」「暮らし・文化」「経済・教育」のテーマごとにスライドや実物を見せて紹介し、解答を行なう。
- ④ エチオピアと日本の共通点と、初めて知って驚いたことをまとめ、話し合う。

この時限のねらい

エチオピアについて知り、日本とは遠く離れた国ではあるが、様々な共通点があることに気づかせ、関心をもたせる。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇アフリカについて抱くイメージでは、「サバンナが広がっている」「自然が多い」といった意見が聞かれた。しかし、スライドで実際の様子を見ると、「都会だ」「高速道路がある」といって驚いた様子であった。
- ◇日本との共通点を挙げてもらったが、「日本人が茶道で人をもてなすように、エチオピアにもコーヒーで人をもてなす習慣がある」「日本と同じように、雨期がある」「ビルや鉄道がある」「お金の単位や言語が日本限定なのと同じように、エチオピアもそれらがその国限定である」といった意見を出していた。
- ◇初めて知って驚いたことは、「新しいビルが建設ラッシュである」「赤道に近いのに、標高が高いため気温が低い」「日本車が多く走っている」「小学校が8年制である」「自然に囲まれているイメージが強かったが、街は日本と同じような感じだった」というような意見を出していた。

3 使用した教材

<教材1> O×クイズ

「エチオピア」とはどんな国だろう？

1年 番 ()

1、「エチオピア」クイズ (自然・環境)

1	エチオピアは赤道に近いので、8月は日本よりも暑かった。	<input type="radio"/> • <input type="checkbox"/>
2	エチオピアは自然が豊かで、移動中の車からも、野生のキリンやシマウマの群れを見ることができた。	<input type="radio"/> • <input type="checkbox"/>
3	エチオピアはコーヒー発祥の地であり、その言葉の語源となった地域がある。	<input type="radio"/> • <input type="checkbox"/>

(暮らし・文化)

1	エチオピアで主に使われているのは英語である。	<input type="radio"/> • <input type="checkbox"/>
2	エチオピアの90%の国民が、イスラム教を信じている。	<input type="radio"/> • <input type="checkbox"/>
3	エチオピアには、日本の茶道のように、コーヒーで来客をもてなす習慣がある。	<input type="radio"/> • <input type="checkbox"/>
4	エチオピアの人々の主食は米である。	<input type="radio"/> • <input type="checkbox"/>
5	地方で滞在したホテルは、普段から水と電気が通っていない。	<input type="radio"/> • <input type="checkbox"/>

(経済・教育)

1	エチオピアで使われているお金は、アメリカと同じ「ドル」だった。	<input type="radio"/> • <input type="checkbox"/>
2	首都は建設ラッシュで、新しいビルが次々と建設中である。	<input type="radio"/> • <input type="checkbox"/>
3	あちこちで車を見かけたが、そのほとんどはドイツなどのヨーロッパ製である。	<input type="radio"/> • <input type="checkbox"/>
4	地方の小学校は、午前と午後で授業を行っている学年が異なる。	<input type="radio"/> • <input type="checkbox"/>

1、日本との共通点はどこだろうか？書いてみよう。

2、初めて知って驚いたことを書いてみよう。

<教材2> 長袖を着用し傘をさしている様子から、気温が低く、雨が降っていることがわかる



<教材3> 馬車が走っている。家畜が多い。



<資料4> コーヒーの実



<教材5> コーヒーセレモニーの様子



<教材6> インジェラ



<教材7>街の様子



<教材8>日本車



3 時限「エチオピアが教えてくれた 学ぶこと、生きること」

1 子どもの活動の流れ

- ①「学校に行けない」ことがどのような結果を招くか、カードを使ってペアで話し合う。
- ②①の話し合いで出た結果を発表させ、ホワイトボードに貼る。「学校に行けない」ことが負の連鎖を生み出していることを確認する。
- ② エチオピアの実態について、教育現場や職業訓練所の様子、現地での日本人の活躍する現場を知る。
- ③ エチオピアにいる人々の話を聞き自分自身の生活を振り返り、学ぶことや働くことの意義を考えさせ、意見を発表する。

この時限のねらい

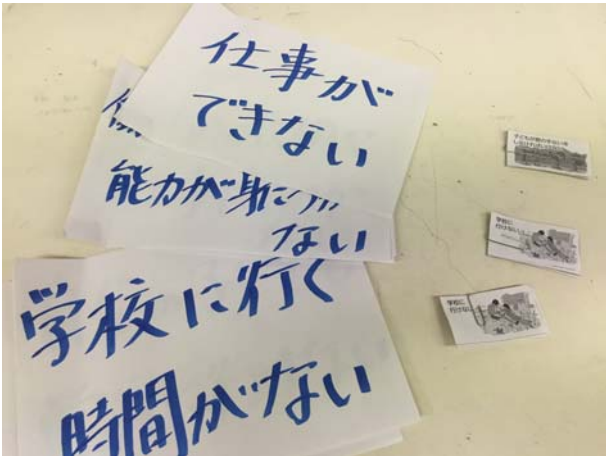
教育を受けられないことが、負の連鎖を生むことをしり、自分たちの生活を振り返って学ぶことの重要性に気付く。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇「学校に行けない」ことがどのようにつながるか、カードを使って考えさせたとき、連鎖することに気付く子どもが少なく、指導者側からの声かけが必要だと感じた。
- ◇エチオピアでは、小学校入学後、多くの子どもたちがドロップアウトする現状を知り、驚いていた。
- ◇日本人がエチオピアで働いていることに目を輝かせていた。
- ◇③のとき、「エチオピアの人たちは大変だ」「自分たちは恵まれている」といった意見が多く、そこから自分たちの学ぶ意義を考えることにつなげていくためには、もう一段階踏み込んだ発問を工夫しなければならないと思った。

3 使用した教材

<教材1> 使用したカード



<教材2> フェアトレードの工場



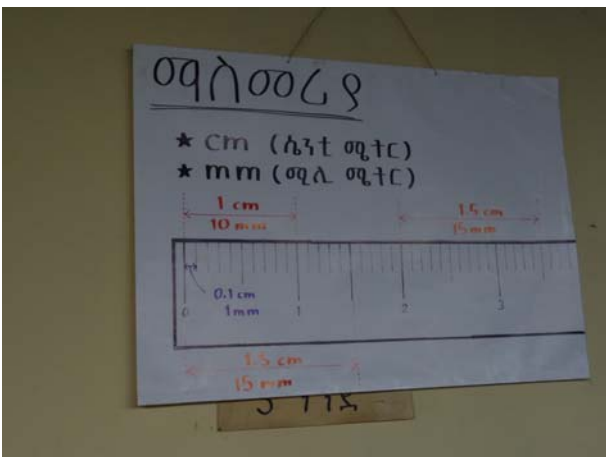
<資料3> 自動車修理の職業訓練所



<資料4> 革工芸の職業訓練所



<教材5> 革工芸の職業訓練所で見つけたもの



<教材6> コーヒー農園の人々



<教材7>ワークシート

エチオピアが教えてくれた ――学ぶこと、生きること――

1年 番 ()

1、「学校に行けない」ことが、どのようにつながっていくか考えてみよう。

2、エチオピアにいる人々の話を聞いて、感じたことや考えたことを書いてみよう。

■ 全体を通して

1 授業の様子

<写真1>



<写真2>



2 参考文献・資料

- 1) 『2014～15 地球の歩き方 東アフリカ』 (ダイヤモンド社)